

# 体感する美術 サウンドアートから

耳を澄まし知覚を開くことで浮かんでくる不思議な世界。竹のオブジェたちが繰り広げるユーモラスな動きと懐かしい音色の競演。張りめぐらされた糸が振動し伝播し共鳴する音の部屋。…サウンドアートの分野で活躍中の藤本由紀夫、松本秋則、三友周太+河村陽介を各回の講師に迎え、作品展示とアーティストトーク、ワークショップを通して、五感を開いて体感する美術の世界を探訪し、音との関わりから拡張する美術の新たな世界の可能性を考えます。

## 1 藤本由紀夫 「HERE & THERE~見ることと聞くこと~」

作品展示：10月23日(土)・24日(日)

アーティストトーク：10月23日(土) 14:00~16:00



「HERE & THERE」2005 (photo: 高崎清俊)

## 2 松本秋則「音のある風景」

作品展示：11月6日(土)・7日(日)

ワークショップ：11月7日(日) 14:00~16:00

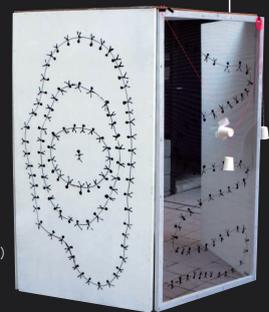


「ローリング・ミュージック」2007 あーと@つちざわ advance / 岩手、東和町(蔵)

## 3 三友周太+河村陽介「音の部屋」

作品展示：11月20日(土)・21日(日)

ワークショップ：11月21日(日) 14:00~15:00



「音の箱・光の箱」より「音の箱」2009 北浦和西口銀座商店街(photo: 中村元)

入場無料・埼玉県立近代美術館 講堂 \*アーティストトーク、ワークショップは事前申込制(参加無料)

アーティストトーク、ワークショップ申込：参加希望のプログラムを**1**(10月23日(土)アーティストトーク、定員30名・一般・大学生対象)、**2**(11月7日(日)ワークショップ、定員30名・小学生以上の親子15組)、**3**(11月21日(日)ワークショップ、定員30名・小学生以上の親子15組)の番号で明記し、住所、氏名、年齢、連絡先電話番号をお書きの上、メール(SMF.info@artplatform.jp)、fax(048-824-0118)、またはハガキ(〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1 埼玉県立近代美術館)で、SMF「体感する美術」係までお送りください。先着順受付、定員になり次第締め切り、ホームページ(<http://artplatform.jp>)でお知らせします。

主催：埼玉県立近代美術館・「交差する風・織りなす場」実行委員会

〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1 (JR京浜東北線「北浦和」西口徒歩3分。東京方面からは「大宮」行きをご利用ください)

問い合わせ：埼玉県立近代美術館内「交差する風・織りなす場」実行委員会事務局

tel: 048-824-0110 / fax: 048-824-0118 / e-mail: SMF.info@artplatform.jp

SMFは身近な場所でアートを享受し支援し  
再創造するプラットフォームをめざしています。

<http://artplatform.jp>

# 体感する美術 サウンドアートから

10月23日(土)・24日(日) 藤本由紀夫  
11月6日(土)・7日(日) 松本秋則  
11月20日(土)・21日(日) 三友周太+河村陽介  
入場無料・埼玉県立近代美術館 講堂  
\*アーティストトーク、ワークショップは事前申込制(参加無料)

サウンドアートの分野で活躍中の藤本由紀夫、松本秋則、河村陽介+三友周太を各回の講師に迎え、作品展示とアーティストトーク、ワークショップを通して、五感を開いて体感する美術の世界を探訪し、音との関わりから拡張する美術の新たな世界の可能性を考えます。

## 1 藤本由紀夫 「HERE & THERE~見るごとと聞くごと~」

作品展示：10月23日(土)・24日(日)

アーティストトーク：10月23日(土) 14:00~16:00  
聴講無料・定員30名(一般・大学生対象・事前申込制)

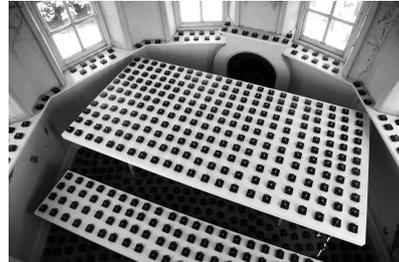


藤本由紀夫

講師からのメッセージ：私たちの耳は、実は驚くべき能力を備えているのですが、眼の役割ほどに意識することはありません。日常生活において当たり前に行っている「音を聞く」という行為について考えます。

藤本由紀夫 (FUJIMOTO Yukio)

1950年 名古屋生まれ。大阪芸術大学音楽学科卒。80年代半ばよりサウンド・オブジェの制作を行う。音を形で表現した作品を個展やグループ展にて発表。その作品をつかったパフォーマンスを行うなど、空間を利用した独自のテクノロジーアートの世界を展開している。1997年-2006年「美術館の遠足」(西宮市大谷記念美術館)、2001年、2007年 ヴェニスビエンナーレ参加。



「The Tower of Time」  
2009 (©IKON GALLERY)



「HERE & THERE」  
2005 (photo: 高嶋清俊)

## 2 松本秋則「音のある風景」

作品展示：11月6日(土)・7日(日)

ワークショップ：11月7日(日) 14:00~16:00  
参加無料・定員30名(小学生以上の親子15組・事前申込制)



松本秋則

講師からのメッセージ：竹の輪(リング)が回転して下に置いてあるいろいろな物を叩く仕組みです。ひとつの輪の直径が1m20cm位です。さまざまな音と動きをお楽しみください。ワークショップでは不思議な段ボール箱の笛を作ります。

松本秋則 (MATSUMOTO Akinori)

1951年 埼玉県生まれ。1978年より創作活動を始め、現代日本美術展、日本国際美術展、ヘンリー・ムア大賞展など数多くに出品。1982年より音の出る作品(サウンド・オブジェ)の制作を始める。1992年 五島記念文化賞を受賞し、その助成で1年半アジア7ヶ国で少数民族の芸能を研究。1999年 第9回バンガラデシュ・アジア・アートビエンナーレでグランプリを受賞。現在は美術館、ギャラリー、公園、民家などさまざまな場所でサウンド・インスタレーションを展開中。



「風を聴く」  
2009 北浦和公園彫刻ひろば (photo: 中村元)



「竹のサウンドオブジェで楽しいアート散歩」  
2008 北浦和西口銀座商店街 (photo: 奥村基)

## 3 三友周太+河村陽介「音の部屋」

作品展示：11月20日(土)・21日(日)

ワークショップ：11月21日(日) 14:00~15:00  
参加無料・定員30名(小学生以上の親子15組・事前申込制)



三友周太



河村陽介

講師からのメッセージ：昨年のSMFアート緑日「回遊美術館」では「音の箱・光の箱」を北浦和の商店街に展示させていただきました。音の箱は糸電話の原理を使った電話ボックスです。箱から、四方八方に街の中へ糸を張りめぐらし、糸を伝わった街の音を箱の中で聴くことができるサウンド・インスタレーションです。今年は、美術館の部屋の中に糸を張りめぐらし、糸につけた振動体などが発する音を聴くことができる、「音の部屋」としてインスタレーションを展開します。振動体から発する音が糸を伝わってどのように聴こえるか体験してみてください。また、会期中に糸と紙コップを使った音のワークショップを行います。

三友周太 (MITOMO Shuta)

1967年 ニューヨーク生まれ。東京薬科大学卒業(薬剤師)。中村キース・ヘリング美術館アドバイザー、銀座芸術研究所代表。TOKYO MILKYWAY 地区ディレクター。社会とアートの接点に関する活動をテーマとし、ワークショップのコーディネートを手がける。光学的な表現活動を行う佐藤時啓+Ray ProjectとしてSightseeing Buscamera Project を行う。グループ展、ワークショップ多数。ぎやるりじん(横浜)、マキマサルファインアーツ(浅草橋)、AYUMIギャラリー(神楽坂)等で個展開催。

河村陽介 (KAWAMURA Yosuke)

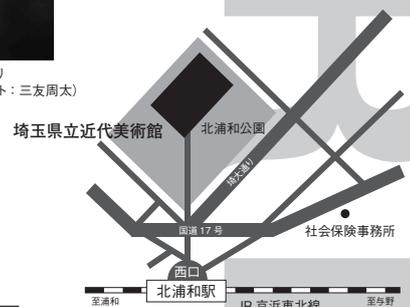
1977年 愛知県生まれ。愛知県立芸術大学卒業/岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー卒業。音響合成や光を用いたメディアでの空間表現を中心にインスタレーションやパフォーマンスを制作。近年は移動型ミュージアム「MOBIUM」の企画運営を各地で行い、GPS技術を用いた移動型コンテンツのリサーチなどを行なっている。主な展覧会に、ARS ELECTRONICA 2004 CAMPUS EXHIBITION / SHOBOSHOTO TOUR 2005(全国) / MobLab 2005(全国) / CET 05(東京八丁堀エリア) / 2006 テクノポリタンミュージアム(大阪日本橋エリア) / 2007 サイトシーイングバスカメラ(KEYFOREST、山梨) / SHOBOSHOTO TOUR 2008(西日本)など。



トウキョウ・ミルキウエイ 2009年より  
(河村陽介+川尾朋子 コーディネート：三友周太)



「音の箱・光の箱」より「音の箱」  
2009 北浦和西口銀座商店街 (photo: 中村元)



埼玉県立近代美術館 <http://www.momas.jp>

企画展「丸沼芸術の森所蔵 アンドリュウ・ワイズ展—オールソン・ハウスの物語—」  
9月25日(土)~12月12日(日)  
観覧料：一般1000円(800円)、大高生800円(640円)。

MOMASコレクションⅢ

西洋の美術—印象派からピカソまで / 平成21年度の新収蔵作品を中心に / 花鳥風月—日本画の名作から / 音楽をめぐる試み  
観覧料：一般200円(120円)、大高生100円(60円)。

観覧料( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と65歳以上、障害者手帳をお持ちの方(付添い1名を含む)は無料。企画展とMOMASコレクションをあわせて観覧する場合、MOMASコレクション観覧料が半額となります。休館日：月曜日(ただし10月11日は開館) / 開館時間：10:00~17:30(展示室への入場は17:00まで)

アーティストトーク、ワークショップ申込：参加希望のプログラムを1(10月23日(土)アーティストトーク、定員30名・一般・大学生対象)、2(11月7日(日)ワークショップ、定員30名・小学生以上の親子15組)、3(11月21日(日)ワークショップ、定員30名・小学生以上の親子15組)の番号で明記し、住所、氏名、年齢、連絡先電話番号をお書きの上、メール(SMF.info@artplatform.jp)、fax(048-824-0118)、またはハガキ(〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1 埼玉県立近代美術館)で、SMF「体感する美術」係までお送りください。先着順受付、定員になり次第締め切り、ホームページ(<http://artplatform.jp>)でお知らせします。

問い合わせ：埼玉県立近代美術館内「交差する風・織りなす場」実行委員会事務局  
tel: 048-824-0110 / fax: 048-824-0118 / e-mail: SMF.info@artplatform.jp